

# あいち農産物生産流通レポート

2024年10月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ミニトマトの増枝による初期増収技術を開発 (農業総合試験場)	1
◎ 東日本情報	
・ 本県産農産物の取扱市場における「物流の2024年問題」への対応状況 (東京事務所)	2
◎ 西日本情報	
・ 愛知のふるさと食品コンテストの取組について (食育消費流通課)	4
・ 愛知県産ブランド米「愛ひとつぶ」について (園芸農産課)	6
◎ フラワーページ	
・ 「第10回エンディング産業展」が開催されました (東京事務所)	7
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)	22

## 内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400



## ミニトマトの増枝による初期増収技術を開発

農業総合試験場東三河農業研究所

### 1 背景と目的

本県のミニトマト生産では、7月～8月に定植し、9月から翌年7月頃まで収穫する促成長期栽培が広く行われています。

多くの場合、側枝は全て切除し、1株に1本の主枝のみ伸長させますが、現場では日射量の多くなる1月以降に側枝を伸長（増枝）させ、収穫後半の増収を図る生産者が見られます。

この技術をヒントに、ミニトマトの販売単価の高い、11月までの増収をねらい、生育初期の増枝について検討しました。

### 2 試験内容

ミニトマト（品種：MKS-T820）を8月19日にヤシガラ培地（98cm×20cm）に定植（培地に6株植え、1条左右振り分け、2700株/10a）し、試験区として、全ての株を増枝する全株増枝区、3株に1株の割合で増枝する一部増枝区、増枝の処理を行わない慣行区の3つの処理区を設置しました。増枝は、主枝第2果房直下の側枝を伸長させ（図1）、側枝を第5果房まで収穫しました。

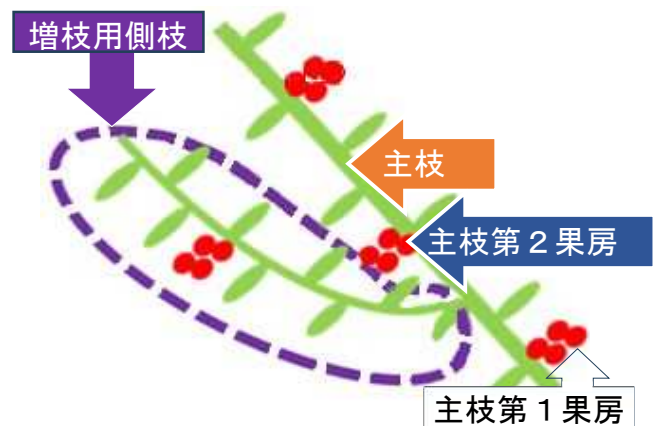


図1 増枝の方法

### 3 試験結果

各区とも主枝からの収穫開始は10月1日、増枝区側枝からの収穫は全株増枝区で10月29日、一部増枝区で11月1日となり、両区とも側枝からの収穫は1月28日に終了しました。11月までの高単価期の良果収量は、慣行区に比べて全株増枝区で5%、一部増枝区で19%多くなり、全期間でも、全株増枝区で4%、一部増枝区で8%多くなりました。一果重は慣行区が最も重く、全株増枝区が最も軽くなりました。良果率は、各区とも概ね9割以上となりました（表1、表2）。また、増枝をしたことで、作業時間は増加するものの、その分収入が増え、結果的に所得は向上する見込みです。

以上から、生育初期に3株に1株の割合で増枝することにより、11月までの収量増につながる結果となりました。

表1 高単価期の収量（10/1～11/30）

処理区	総収量 (t/10a)	良果収量 (t/10a)	慣行と の対比	良果率 (%)	一果重 (g)
全株増枝	3.42	3.23	105	94.4	10.4
一部増枝	3.93	3.64	119	92.6	11.4
慣行	3.11	3.07	100	98.7	12.2

表2 全期間の収量（10/1～翌4/28）

処理区	総収量 (t/10a)	良果収量 (t/10a)	慣行と の対比	良果率 (%)	一果重 (g)
全株増枝	15.51	14.13	104	91.1	13.3
一部増枝	16.30	14.78	108	90.7	13.7
慣行	15.19	13.65	100	89.9	14.0

## 本県産農産物の取扱市場における「物流の2024年問題」への対応状況

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

「働き方改革関連法」の施行により、トラック運転手は2024年4月から時間外労働の上限規制（休日を除く年960時間）と拘束時間の規制等が強化されたため、労働時間が短くなることで輸送能力が不足して物流が停滞する「物流の2024年問題」（以下「2024年問題」という。）がクローズアップされています。農産物・食品流通はトラックによる輸送が97%となっており、特に生鮮食品の輸送では①手荷役作業が多い、②市場や物流センターでの荷降ろしの待機時間が長い、③産地が消費地から遠く長距離輸送が多い、等の特徴があります※。このため、農業分野においてはトラック運転手の拘束時間や移動距離の短縮によって、①輸送能力の不足、②物流の停滞、③中継輸送（複数人での分担運行）によって輸送時間が延長して農産物の品質が低下する、等が懸念されています。

そこで、本県産農産物が出荷されている市場のうち、協力が得られた都内3市場、都外2市場を本年4月から8月にかけて訪問し、①2024年問題への対応状況、②市場での取組課題、③本県産農産物の市場評価、について調査しました。

※出典：「物流2024年問題」への対応について」農林水産省大臣官房新事業・食品産業部食品流通課（2024年1月）

### 1 東京都内の事例

都内3市場の調査結果は下記のとおりで、本年4月以降の状況は、いずれの市場も「2024年問題」に関して特段の問題は起きていないこと、本県産農産物は2024年4月以前と同様の評価であることが分かりました。

	豊洲市場	豊島市場	北足立市場
主な県産取扱品目（※）	おおば、キャベツ、ほじそ	キャベツ、おおば、ミニトマト	キャベツ、ミニトマト、おおば
2024年問題への対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月以降に特段の問題は起きていない。</li> <li>早い段階で場内の物流改善を進め、荷下ろしの待機時間はほぼない状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月以降に特段の問題は起きていない。</li> <li>2024年4月以前から荷受時間を産地ごとに異なる時間帯としていたため、荷下ろしの待機時間はほぼない状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月以降に特段の問題は起きていない。</li> <li>1年前から荷下ろしの待機時間短縮に取り組み、荷受け担当者を搬入県ごとに決め、作業効率を高めた。</li> </ul>
市場での取組課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷下ろしはトラック運転手がフォークリフトで行うが、一部産地はパレット積みで搬入されていない。手作業でパレットに積んだ後、フォークリフトで所定の場所に置くため非効率となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11(いちいち)型（寸法：1.1m×1.1m）のレンタルパレットによる出荷が増えたため、返却のための積み替え作業、保管場所の確保が課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンタルパレットの返却や保管の業務が増え、これに係る経費も増えている。</li> </ul>
本県産農産物の市場評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷物の搬入が従前より遅くなる状況は生じておらず、農産物の品質は2024年4月以前と同様の評価である。</li> <li>2024年4月以降も、本県は東京から近い「近在産地」と認識されている。</li> </ul>		

※取扱金額の上位3品目（出典：東京都中央卸売市場 令和5年市場統計情報）



荷下ろしの待機がほぼ発生していない豊洲市場



青果物流通で導入が進む 11 型レンタルパレット

## 2 東京都外の事例

都外 2 市場の調査結果は以下のとおりで、本年 4 月以降の状況は、いずれの市場も東京都内の事例と同様、「2024 年問題」に関して特段の問題は起きていないこと、本県産農産物は 2024 年 4 月以前と同様の評価であることが分かりました。

	横浜市中心卸売市場	札幌市中心卸売市場
主な県産取扱品目 (※)	キャベツ、おおば、ミニトマト	キャベツ、おおば、ミニトマト
2024 年問題への対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024 年 4 月以降に特段の問題は起きていない。</li> <li>早い段階で場内の物流改善を進め、荷下ろしの待機時間はほぼない状況である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024 年 4 月以降に特段の問題は起きていない。</li> <li>荷受け作業の時間削減を図るため、パレットを 11 型に規格統一する「パレット運用協議会」を設立し、各運送会社が会員となっている（有料会員）。</li> </ul>
市場での取組課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>11 型のレンタルパレットの保管場所確保が必要となっており、管理と返却の業務が負担となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェリーや鉄道による長距離コンテナ輸送では、荷下ろし後のパレットの回収方法などが課題である。</li> <li>農産物の入荷は、夏季は道内各産地からのトラック輸送、冬季は本県を含む道外からのフェリーや鉄道によるコンテナ輸送が主となっている。</li> <li>【夏季】トラック輸送が主のため荷受けが分散され荷下ろしの待機時間は問題になりにくい。</li> <li>【冬季】苫小牧港にフェリーが到着すると、港から市場に向けてトラック輸送が一斉に開始され(多いときは1度に 50~60 台)、受付時間が数分ずれると荷下ろしの待機時間に大きな差が出る。</li> </ul>
本県産農産物の市場評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>荷物の搬入が従前より遅くなる状況は生じておらず、農産物の品質は 2024 年 4 月以前と同様の評価である。</li> </ul>	

※取扱金額の上位 3 品目 (出典：横浜市 令和 5 年市場年報、令和 5 年札幌市中心卸売市場年報)

## 3 まとめ

市場の 2024 年問題への対応としては、トラック運転手の滞在時間を減らすべく、荷下ろしの待機時間の削減や荷受け時間の短縮に取り組まれており、一定の効果上げていました。また、京浜市場における本県産農産物の評価については、県内 J A が連携して共同輸送する等に取り組んでいるため、本年 4 月以降も東京から近い「近在産地」と認識されていました。東京都外（横浜市、札幌市）の市場においても、本県産農産物は本年 4 月以前と同様の評価でした。

以上のとおり、8 月までの時点では本県産農産物の評価や輸送等について特段の課題は確認できませんでしたが、11 月からは秋冬作の本格出荷が始まるため、引き続き関係機関との連携を密にして 2024 年問題の情報収集に努めていきます。

## 愛知のふるさと食品コンテストの取組について

食育消費流通課


愛知県では、県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的として、1998年から「愛知のふるさと食品コンテスト」を毎年開催しています。

今年度は応募のあった28商品について、書類審査（技術又は製品の新規性、県産原料の利用度、独創性、郷土色の豊かさ、包装デザイン、ネーミング、広告宣伝・販路開拓、価格）と8月1日（木）に食味審査を行いました。

審査の結果、「岡崎おうはん焼鳥缶（しょうゆだれ味）」を最優秀賞（知事賞）、「<sup>ライス</sup>Rize」と「背徳のいか塩辛」を優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞）に決定しました。

なお、最優秀賞の商品を一般財団法人食品産業センターが主催する「優良ふるさと食品中央コンクール」の愛知県代表として県から推薦しました。本県からの推薦賞品は、本コンクールの最高賞である農林水産大臣賞を1999年以降で9回受賞しています。

## 1 最優秀賞（知事賞）の概要

商品名	岡崎おうはん焼鳥缶（しょうゆだれ味）	
製造者	株式会社太田商店（岡崎市） <a href="https://ohta-shouten.co.jp">https://ohta-shouten.co.jp</a>	
希望小売価格（税込）	1,080円/缶（160g）	
販売店舗	自社直売所（らんパーク）、JA産直店舗、観光みやげ店、道の駅、サービスエリア他	
主な原材料	鶏肉（岡崎おうはん）、しょうゆ、砂糖類、かつお節エキス 他	
商品の概要・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡崎おうはん（2008年に岡崎市内で国が育種改良した純国産鶏）を100%使用。もも・むね・皮を甘辛醤油だれで味付け。</li> <li>・ 肉質はコクと弾力があり、1缶で大満足。</li> <li>・ 食べ方はそのままでも、親子丼、野菜炒め、麺類のトッピング等用途は様々。</li> </ul>	
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皮が柔らかく、くどくない味。味が全体にしっかりとしみています。</li> <li>・ 肉感があり、食感を楽しめる。</li> </ul>	

## 2 優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞）の概要

商品名	ライス Rize	
製造者	株式会社ideai（日進市） <a href="https://encoretsubaki.com">https://encoretsubaki.com</a>	
希望小売 価格（税込）	600 円/本 （330mL）	
販売店舗	自社店舗（あんこ椿）他	
主な原材料	米麴、ホップ	
商品の概要 ・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホップを使用したビアテイストアルコール飲料。</li> <li>・米麴とホップのみを使用しており、麦不使用のグルテンフリー。</li> <li>・甘くフルーティーな香りと、程良い酸味、ホップの苦みがさわやかに広がる。</li> </ul>	
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香りがさわやか。</li> <li>・口あたりがクリーミー。</li> </ul>	

商品名	背徳のいか塩辛	
製造者	山本水産株式会社（蒲郡市） <a href="http://www.yamasui.net">http://www.yamasui.net</a>	
希望小売 価格（税込）	1,700 円/瓶 （140 g）	
販売店舗	自社店舗（味のヤマスイ）、通信販売	
主な原材料	するめいか、食塩	
商品の概要 ・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉厚で柔らかいと言われる、蒲郡するめいかを徹底的にトリミングし、食感の良い胴の部分を使用。</li> <li>・ワタと身の部分は塩の浸透圧と重力のみで脱水。</li> <li>・味付けは天然塩のみを使用。</li> </ul>	
審査講評	<ul style="list-style-type: none"> <li>・味にコクがある。</li> <li>・原材料がいかだけとは思えない旨味。</li> </ul>	

2024 年度愛知のふるさと食品コンテストの他の出品商品については、愛知県公式 Web サイトに 10 月に掲載します。

2023 年度の出品商品は (<https://www.pref.aichi.jp/book/list/book164.html>) に掲載しています。

## 愛知県産ブランド米「愛ひとつぶ」について

園芸農産課

愛知県は、JAあいち経済連等の農業団体や生産者と連携して、「愛ひとつぶブランド化推進協議会」を設立し、愛知県の最上級ブランド米「愛ひとつぶ」のPR活動に取り組んでいます。

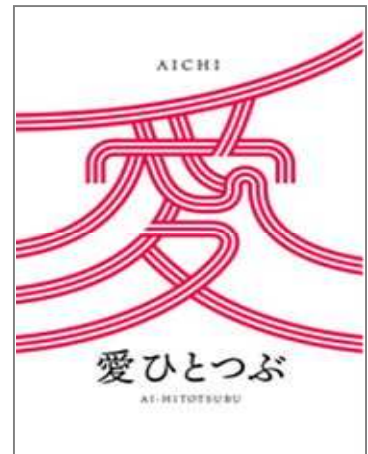
## 1 「愛ひとつぶ」とは

近年、夏場の高温で米粒が白く濁る品質低下が問題となっており、県農業総合試験場が猛暑でも品質が良く、美味しいお米の品種「なつきらり」を2017年に開発しました。

「なつきらり」は、経営面積などの登録要件を満たした生産者のみが栽培しており、この「なつきらり」のうち、厳しい品質基準（農産物検査等級1等、玄米タンパク質含有率6.4%以下）を満たしたお米が「愛ひとつぶ」となります。2020年産から一般販売がスタートし、今年で5年目を迎えます。

「愛ひとつぶ」は、上品な甘みともっちりとした食感が特徴です。

「愛ひとつぶ」のブランドマークは、日本の伝統的な水引をイメージさせ、川の流れにも似た伸びやかなラインが県の豊かな水源を象徴しています。



「愛ひとつぶ」の  
ブランドマーク

## 2 「愛ひとつぶ」の販売

2024年産の新米は、8月30日から県内の量販店などで販売されています。

## (1) 取扱予定店

Aコープ、ユニー、イオン、イトーヨーカドー、ヤマナカ、フィール、マックスバリュ、平和堂、ドミー、コープあいち、西友、オークワ、サンヨネ、三河屋、スギ薬局、杏林堂、ベイシア、JA店舗（なお、取扱店舗は各スーパー等で決めています。）

## (2) 販売形態

ブランドマークの入った専用袋（2kg 精米、5kg 精米、2kg 無洗米、5kg 無洗米）店頭精米方式販売（JAグリーンセンター等）

## 3 「愛ひとつぶ」のブランド化の取組

今年は「愛ひとつぶ」のテレビCMをリニューアルし、引き続き愛知県出身の俳優、水野勝さんを起用して「愛ひとつぶ」の認知度向上に取り組んでいます（9月6日から10月末まで放映予定）。

その他、各種メディアへの露出、WEBページ（<https://ai-hitotsubu.jp/>）での情報発信などを通じて「愛ひとつぶ」のPRを行っています。



詳しくはこちら▲



## 「第10回エンディング産業展」が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2024年8月28日（水）から29日（木）にかけて、東京ビッグサイトで「第10回エンディング産業展」（主催：東京博善株式会社）が開催されました。

額葬儀、埋葬、供養・相続などの終活産業に関する祭壇や設備・備品・サービスが集まる日本最大の専門展を取材しましたので、その概要を紹介します。

### 1 ニーズを取り入れたオリジナルデザイン祭壇

株式会社フォーシーズンズ（神奈川県）は、オリジナルデザインの生花祭壇の設営、撤収、生花商品の企画・制作を行っています。

祭壇の展示では、最近のニーズに合わせてダリアやトルコキキョウなどを使用し、明るい色や人気のある紫色を使用してシックな雰囲気を演出していました。また、夏の季節に合わせてグリーンを取り入れた祭壇も目を引いていました。



紫色のダリアやトルコキキョウなどを使用したシックな雰囲気の祭壇



棺の配置も含めてデザインした祭壇

## 2 生成AIシステム「NOA」によるAI祭壇

abs 株式会社（埼玉県）は、主に冠婚葬祭業界における業務システムの開発・保守・運用を行っており、大量の祭壇デザインデータを学習した生成AIシステム「NOA」（URL:<https://www.noa-ai.com/>。10月から一か月間無料お試しを実施中です。）を使ってデザインされた祭壇の展示が行われていました。

故人の趣味や花材の品種・色、洋風などの雰囲気を取り入れて予算内に祭壇をデザインするためには、デザインに6時間程度かかります。葬儀までの準備時間が限られるなか、多様化するニーズに対応するためには、デザインに係る時間の短縮が望まれており、生成AIの力を借りることで、祭壇のデザインに係る時間を6時間から1分に短縮することができるようになりました。

今後、葬儀会社と祭壇制作会社が協力して生成AIがデザインした祭壇を実装していく予定です。また結婚式場やイベント会場の装飾デザインなどにも応用していく見込みです。



AIがデザインした祭壇

## 3 <sup>そめきく</sup> 染菊を使用したボトルフラワー

株式会社 Luna（東京都）は、ガラスボトルに染菊やバラなどの生花を使用して職人がデザインしたボトルフラワーなどを展示していました。なお、同社の加工場は九州にあり、熊本県産の染菊を使用しているそうです。また、ボトルフラワーは、ドライフラワーにはないナチュラルな色で長期間飾ることができます。仏壇用や母の日などのギフト用だけでなく、本当は生花を飾りたいけど飾れない人にも需要があるそうです。



ボトルフラワーによる仏壇の装飾



染菊を使用したボトルフラワー

今回紹介した展示事例から、葬儀用の花の色、種類が益々多様化していくことが予想されます。花き国内消費額の内、葬儀用の割合は15.3%を占めており、全国一の花きの生産を誇る本県の各産地の販売戦略に影響を与える可能性があると感じました。

項目	消費額（億円）	割合（%）
個人消費	8,813	78.0
葬儀用	1,727	15.3
婚礼用	372	3.3
稽古用	392	3.4
合計	11,304	100.0

令和3年度の花き年間国内消費額（参考：令和6年「花きの現状について」農林水産省）

## 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台以内  
 や や : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大 幅 : ±16%以上

### ○ 名古屋市中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	376	104 (28%)	284	378	三重(72%) 愛知(28%)
2024年見通し	400	—	280	—	—
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
愛知、三重を中心に入荷する。各産地、夏場の高温による着色遅れ等の高温障害のほか、カメムシによる被害が懸念される。入荷量は平年を大きく下回った前年より多いものの平年をかなり下回る見込み。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年をかなり上回る。(6.4%) 価 格：前年並。(△1.4%)			本県には近隣の和歌山や岐阜から柿の入荷があり、次郎柿の消費が弱いイメージであるが、消費者の嗜好の変化をとらえて需要の掘り起こしをしていきたい。産地や行政と連携して県内での消費宣伝活動をしていきたい。		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年主要産地 (上位3産地)
2023年実績	1,597	1,375 (86%)	341	336	愛知(86%) 静岡(13%)
2024年見通し	1,700	—	340	—	岐阜(1%)
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
愛知を中心に静岡などから入荷する。愛知は夏季の高温により日焼け果が散見される。出荷量は裏年だった前年をかなり上回る見込みとなる。 <b>【見通し】</b> 入荷量：前年をかなり上回る。(6.4%) 価 格：前年並。(△0.3%)			「りんご」「みかん」「なし」などが競合する時期にあたる。今年は夏季の高温、カメムシによる被害の影響により、全国的に入荷量が少ない中での販売となる。売り場を確保するためにも、スタートから積極的な販売を仕掛けていく。 日焼け果など、軟化玉が懸念されるので、選果選別の徹底をお願いしたい。		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	36,853	195	206	192	185	北海道 40%
	2020年	41,811	207	220	205	192	長野 23%
	2021年	41,018	189	208	177	181	茨城 8%
	2022年	38,386	220	228	225	206	群馬 8%
	2023年	34,824	261	262	259	265	青森 5%
	5カ年平均	38,578	214	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	35,100	231	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
だいこん	2019年	2,152	84	92	79	86	青森 58%
	2020年	2,321	102	118	96	98	北海道 17%
	2021年	2,451	99	125	84	91	愛知 9%
	2022年	2,247	113	137	118	93	新潟 6%
	2023年	1,705	147	160	167	125	千葉 5%
	5カ年平均	2,175	107	124	106	97	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1,800	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
にんじん	2019年	2,464	102	116	104	93	北海道 95%
	2020年	2,663	126	127	131	113	青森 3%
	2021年	2,779	85	93	85	80	
	2022年	2,431	170	174	187	157	
	2023年	2,248	208	212	236	218	
	5カ年平均	2,517	135	138	144	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,300	180	170	180	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

9月30日 現在

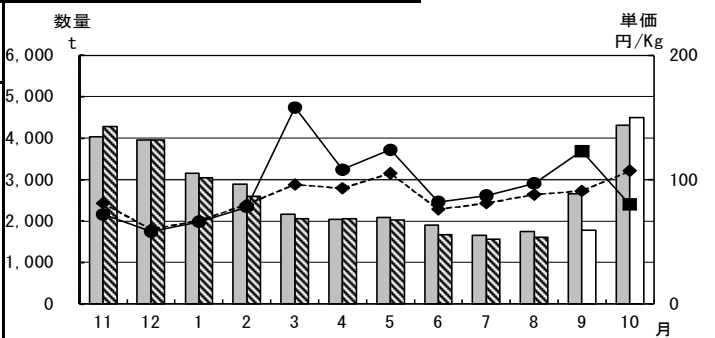
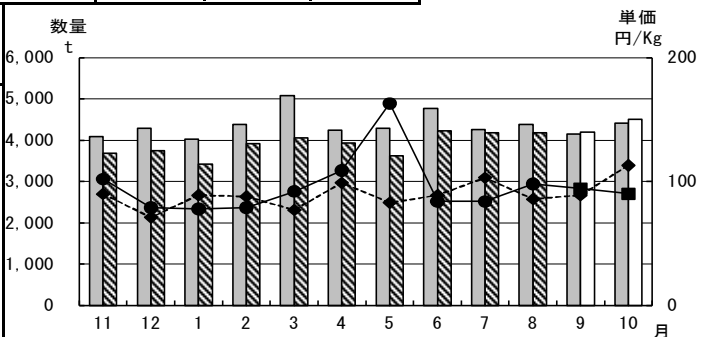
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	135,007	217	227	207	218	北海道 25%
	2020年	136,996	245	260	242	233	長野 16%
	2021年	129,026	211	232	199	204	茨城 14%
	2022年	126,546	246	257	247	237	群馬 12%
	2023年	114,685	308	309	321	296	千葉 9%
	5カ年平均	128,452	244	—	—	—	
	2024年見通し	120,000	280	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
だいこん	2019年	11,155	81	89	73	82	千葉 34%
	2020年	11,550	98	116	94	85	青森 30%
	2021年	10,629	91	118	78	82	北海道 23%
	2022年	11,499	99	127	106	76	茨城 5%
	2023年	10,032	135	154	149	111	神奈川 5%
	5カ年平均	10,973	100	120	99	87	
	2024年見通し	10,000	130	140	125	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
にんじん	2019年	8,306	108	112	110	104	北海道 89%
	2020年	9,177	125	128	125	123	中国 5%
	2021年	9,010	76	88	70	72	青森 3%
	2022年	7,506	173	172	179	169	千葉 3%
	2023年	6,813	217	212	224	214	
	5カ年平均	8,162	135	138	136	132	
	2024年見通し	6,900	135	135	135	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						

名古屋市中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2019年	4,765	57	65	51	56	長野 97%
	2020年	6,026	67	81	63	59	茨城 2%
	2021年	5,509	60	91	53	50	山梨 1%
	2022年	5,089	84	84	96	74	
	2023年	4,319	107	99	126	96	
	5ヵ年平均	5,142	74	83	76	66	
	2024年見通し	4,500	80	80	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		 <p>【産地状況】 量販店の売場も広がり消費増える。月末から茨城産がスタートする見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.2%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(△25.2%)</p>					
キャベツ	2019年	4,804	75	87	83	61	群馬 49%
	2020年	5,154	87	95	95	76	長野 25%
	2021年	5,388	81	97	77	77	愛知 10%
	2022年	4,913	84	87	81	87	茨城 8%
	2023年	4,410	113	115	111	116	北海道 7%
	5ヵ年平均	4,934	87	96	89	82	
	2024年見通し	4,500	90	90	90	90	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		 <p>【産地状況】 高冷地(群馬・長野)は、10月中旬まで多い入荷見込み。平坦地(愛知・茨城)は10月下旬のスタート予想。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.0%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(△20.4%)</p>					
ほうれんそう	2019年	268	668	679	632	687	岐阜 71%
	2020年	250	758	813	729	731	愛知 9%
	2021年	320	585	651	538	586	茨城 7%
	2022年	236	765	915	763	686	長野 6%
	2023年	211	835	971	856	743	群馬 3%
	5ヵ年平均	257	710	775	685	684	
	2024年見通し	220	850	900	850	800	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		 <p>【産地状況】 高温の影響により入荷量は不安定となる見通し。愛知等の平坦地の入荷は遅れる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.3%) 価格：高値だった前年並。(1.8%)</p>					

東京都中央卸売市場

9月30日 現在

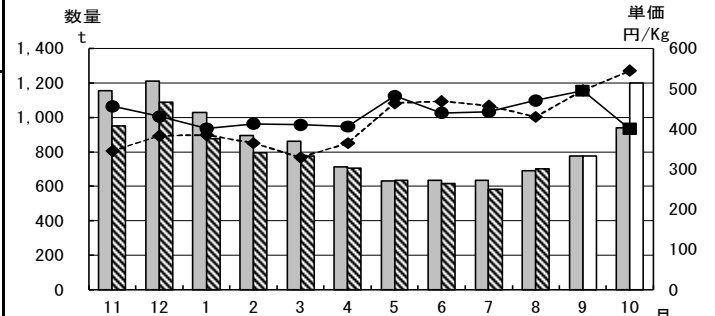
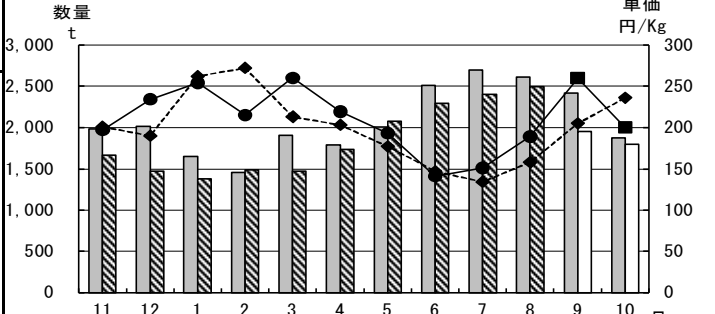
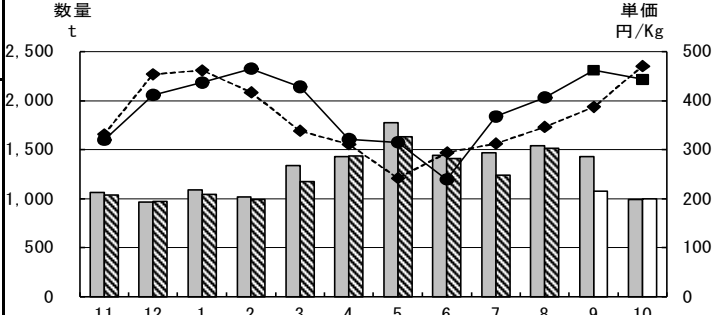
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	2019年	17,523	57	66	56	52	長野 84%
	2020年	18,691	68	87	65	53	茨城 10%
	2021年	15,288	63	96	56	51	群馬 3%
	2022年	15,117	79	81	92	64	北海道 2%
	2023年	13,928	108	107	129	89	岩手 1%
	5ヵ年平均 2024年見通し	16,109 14,000	74 110	86 130	77 100	61 100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 長野を中心に入荷する。長野産は生育が前進傾向で、中旬がピークとなる。茨城産の数量は増えず、横ばいの見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：前年並。(1.9%)							
キヤベツ	2019年	17,568	74	82	78	63	群馬 60%
	2020年	17,755	90	99	99	74	千葉 13%
	2021年	17,069	77	93	68	69	岩手 10%
	2022年	17,285	75	78	72	75	長野 7%
	2023年	15,079	118	119	118	116	茨城 7%
	5ヵ年平均 2024年見通し	16,951 16,000	86 90	94 90	86 80	78 100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 群馬を中心に入荷する。群馬産はシーズン終盤で漸減するが、岩手産が中下旬に一時的に増加、千葉産の数量は前年並を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(6.1%) 価格：前年を大幅に下回る。(△23.7%)							
ほうろ	2019年	1,284	571	569	512	626	群馬 47%
	2020年	1,322	628	702	580	610	茨城 20%
	2021年	1,459	498	515	418	578	栃木 15%
	2022年	1,351	606	708	597	555	岩手 3%
	2023年	1,230	686	880	754	562	岐阜 3%
	5ヵ年平均 2024年見通し	1,329 1,250	595 600	669 640	567 580	586 580	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 群馬、茨城等を中心に入荷する。数量は、群馬産は中旬から、茨城産は中下旬から増える見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.6%) 価格：前年をかなり下回る。(△12.5%)							

名古屋市中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	2019年	1,083	394	396	395	北海道	43%	
	2020年	1,155	453	474	455	長野	27%	
	2021年	1,266	330	368	311	中国	5%	
	2022年	1,214	407	440	428	茨城	5%	
	2023年	941	545	574	572	富山	4%	
5カ年平均	1,132	420	441	425	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	1,200	400	400	380				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 各産地順調な出荷予想。北海道、長野は 平年並の安定した入荷の見込み。愛知は月 末から越津ねぎが出始めるが、生産減。								
【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(27.5%) 価 格：高値だった前年を大幅に下回る。 (△26.6%)								
しそ	2019年	2,118	162	134	148	216	茨城	52%
	2020年	2,380	152	152	154	152	長野	42%
	2021年	2,512	126	145	97	144	群馬	2%
	2022年	2,096	214	205	209	237	愛知	1%
	2023年	1,874	236	210	270	233	兵庫	1%
5カ年平均	2,196	174	166	168	193	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	1,800	200	200	200				
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 長野は切り上がり早い見込み。茨城は 平年並の出荷となるが、出始めは品質が悪 いことが予想される。								
【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.9%) 価 格：高値だった前年をかなり下回る。 (△15.3%)								
きゅうり	2019年	1,151	330	259	304	466	群馬	43%
	2020年	1,222	450	425	425	509	長野	19%
	2021年	1,213	299	254	247	432	山梨	13%
	2022年	1,064	408	367	403	462	北海道	7%
	2023年	989	470	438	565	418	宮崎	6%
5カ年平均	1,128	389	342	380	458	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
2024年見通し	1,000	443	460	450	420			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
【産地状況】 作柄良好。北海道が中旬で終了し、群 馬、長野、山梨が中心の販売となる。								
【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.1%) 価 格：高値だった前年をやや下回る。 (△5.7%)								



東京都中央卸売市場

9月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	5, 596	379	370	386	380	北海道 21%
	2020年	5, 924	443	486	452	399	青森 18%
	2021年	5, 281	306	325	283	311	秋田 15%
	2022年	5, 745	407	325	283	311	茨城 8%
	2023年	4, 598	618	698	670	516	栃木 7%
	5ヵ年平均 2024年見通し	5, 429 4, 600	425 420	433 430	407 400	379 430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 北海道、青森等を中心に入荷する。昨年のような高温障害はなく、一部産地で降雨による傷みがみられるが、生育は概ね順調。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.0%) 価格：前年を大幅に下回る。(△32.0%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					
しめじ	2019年	8, 139	148	123	134	191	茨城 62%
	2020年	8, 444	145	145	141	150	長野 24%
	2021年	8, 792	132	148	113	135	群馬 7%
	2022年	8, 048	203	191	188	233	栃木 4%
	2023年	8, 113	219	190	247	223	長崎 1%
	5ヵ年平均 2024年見通し	8, 307 8, 200	169 210	159 190	164 230	185 210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城産は生育順調で中旬から本格出荷となり、順調な入荷を見込む。長野産は前年をやや上回る見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.1%) 価格：前年をやや下回る。(△4.1%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					
きゅうり	2019年	6, 119	311	235	292	440	群馬 31%
	2020年	5, 505	423	398	407	468	埼玉 25%
	2021年	5, 767	268	222	217	394	福島 11%
	2022年	5, 168	368	321	363	426	茨城 9%
	2023年	5, 109	438	423	518	383	宮城 5%
	5ヵ年平均 2024年見通し	5, 534 5, 100	358 400	316 430	354 400	423 370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 群馬、埼玉等を中心に入荷する。上旬に東北産が終了し、関東産のみとなるが、中旬から西南暖地産の入荷が始まる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.2%) 価格：前年をかなり下回る。(△8.7%)</p>					
		<p>数量(t) 単価(円/Kg)</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)		
			上旬	中旬	下旬			
な す	2019年	740	318	308	301	357	熊本 33%	
	2020年	604	394	411	374	397	愛知 32%	
	2021年	709	275	292	230	318	山梨 17%	
	2022年	567	385	400	384	374	徳島 7%	
	2023年	609	392	376	395	407	群馬 5%	
	5カ年平均	646	348	350	330	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	580	370	370	370	370		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 熊本は中旬から本格的な出荷となる。愛知は冬春産地の定植が遅れており、10月頃不足気味になる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.8%) 価格：前年をやや下回る。(△5.6%)</p>
	【産地状況】 熊本は中旬から本格的な出荷となる。愛知は冬春産地の定植が遅れており、10月頃不足気味になる。							
	ト マ ト	2019年	1,145	449	588	399	373	岐阜 51%
2020年		946	530	563	525	494	愛知 17%	
2021年		1,209	359	421	316	364	熊本 16%	
2022年		952	548	553	556	532	三重 6%	
2023年		683	775	691	972	724	大分 4%	
5カ年平均		987	507	550	486	486	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し		700	700	700	700	700		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 夏秋作は8、9月の高温の影響により小玉傾向。下旬から入荷する冬春作も夏場の高温により着花不良のため、出荷量は不足する。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.5%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△9.7%)</p>	
【産地状況】 夏秋作は8、9月の高温の影響により小玉傾向。下旬から入荷する冬春作も夏場の高温により着花不良のため、出荷量は不足する。								
ミ ニ ト マ ト		2019年	503	889	1,013	918	707	熊本 41%
	2020年	480	990	953	1,083	949	愛知 23%	
	2021年	558	739	959	743	571	北海道 22%	
	2022年	507	929	975	922	904	茨城 7%	
	2023年	368	1,258	1,285	1,273	1,229	長野 2%	
	5カ年平均	483	939	1,022	948	851	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	2024年見通し	450	950	950	950	950		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>【産地状況】 北海道はピークを越え、徐々に減少。熊本、愛知は8月の高温の影響を受け、低段の着花が悪く、10月中の数量は少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(22.3%) 価格：高値だった前年を大幅に下回る。(△24.5%)</p>
	【産地状況】 北海道はピークを越え、徐々に減少。熊本、愛知は8月の高温の影響を受け、低段の着花が悪く、10月中の数量は少ない見込み。							

東京都中央卸売市場

9月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
なた	2019年	3, 511	328	302	309	374	高知 35%	
	2020年	3, 158	411	411	402	419	群馬 21%	
	2021年	3, 582	273	269	233	329	栃木 16%	
	2022年	3, 065	337	269	233	329	茨城 13%	
	2023年	3, 190	373	359	399	364	福岡 5%	
	5ヵ年平均	3, 301	342	320	314	363		
	2024年見通し	3, 200	370	350	380	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 高知、群馬等を中心に入荷する。入荷量は、高知産は生育順調で昨年よりやや多い、群馬産は前年並を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.3%) 価格：前年並。(△0.8%)</p>							
トマト	2019年	5, 963	453	555	389	408	千葉 18%	
	2020年	4, 933	558	585	544	537	熊本 16%	
	2021年	5, 825	398	434	367	396	福島 12%	
	2022年	5, 056	532	516	530	551	茨城 10%	
	2023年	3, 226	844	726	1,060	819	北海道 9%	
	5ヵ年平均	5, 001	527	547	530	513		
	2024年見通し	3, 800	650	650	620	680	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 千葉、熊本等を中心に入荷する。夏秋産地は昨年より残量が多いが、下旬には終了。中旬以降は本県、栃木等の後続産地が出揃う。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に上回る。(17.8%) 価格：前年を大幅に下回る。(△23.0%)</p>							
ミニ トマト	2019年	1, 938	855	1,017	863	715	熊本 24%	
	2020年	1, 711	971	951	1,046	928	千葉 17%	
	2021年	2, 058	714	900	729	564	茨城 13%	
	2022年	1, 797	907	921	907	893	北海道 10%	
	2023年	1, 404	1,180	1,186	1,180	1,173	愛知 10%	
	5ヵ年平均	1, 782	906	985	926	829		
	2024年見通し	1, 400	1,100	1,100	1,100	1,100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)	
	<p>【産地状況】 熊本、千葉等を中心に入荷する。越冬作の入荷が開始する一方、夏秋作と抑制作は終盤に向かう。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年をかなり下回る。(△6.8%)</p>							

名古屋市中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	525	393	428	400	393	茨城 48%
	2020年	404	599	586	636	601	北海道 15%
	2021年	474	299	389	304	288	高知 12%
	2022年	485	426	421	421	506	青森 8%
	2023年	372	672	657	682	707	鹿児島 7%
	5カ年平均	452	463	487	469	488	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	350	600	600	600	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 茨城は高温の影響で平年より少ない入荷予想。中旬から下旬にかけて冬春もの出荷が始まり、単価は落ち着いてくる見込み。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をやや下回る。(△5.9%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△10.7%)							
ばれいしょ	2019年	2,586	85	84	85	84	北海道 100%
	2020年	3,339	116	112	118	117	
	2021年	2,376	176	178	169	179	
	2022年	2,569	109	108	108	106	
	2023年	2,408	131	129	131	133	
	5カ年平均	2,656	122	120	122	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	2,500	140	140	140	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 小玉傾向であるが、安定した入荷を見込む。L中心のLMでの入荷。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をやや上回る。(3.8%) 価格：前年をかなり上回る。(6.9%)							
たまねぎ	2019年	5,684	75	75	79	75	北海道 97%
	2020年	7,225	72	74	73	70	兵庫 2%
	2021年	6,848	109	102	109	116	中国 1%
	2022年	6,731	96	102	100	92	
	2023年	6,766	108	102	106	125	
	5カ年平均	6,651	92	91	95	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	6,200	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<b>【産地状況】</b> 干ばつの影響があったものの生育良好。L大～L中心に入荷。 <b>【概況見通し】</b> 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.4%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△7.4%)							

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	2, 211	366	367	350	378	茨城 61%
	2020年	1, 898	559	539	576	566	岩手 20%
	2021年	2, 465	255	300	213	254	福島 6%
	2022年	2, 119	366	313	349	437	高知 5%
	2023年	1, 934	608	597	569	653	青森 3%
	5ヵ年平均	2, 125	419	413	398	445	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1, 900	550	570	540	540	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 茨城を中心に入荷する。猛暑の影響が残り、入荷量は前年並で高値基調となる見込み。中旬以降は西南暖地産が増える。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.8%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.5%)							
ばれいしょ	2019年	7, 651	92	91	92	91	北海道 100%
	2020年	8, 506	125	121	124	131	
	2021年	6, 047	181	183	180	179	
	2022年	7, 257	109	116	108	106	
	2023年	6, 733	128	127	127	129	
	5ヵ年平均	7, 239	125	125	124	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	6, 800	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。高温等により生育は前進傾向。入荷サイズは9月より若干大玉となりL中心を見込む。							
【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.0%) 価格：前年をかなり下回る。(△14.1%)							
たまねぎ	2019年	9, 755	81	81	82	81	北海道 97%
	2020年	10, 496	77	78	76	76	中国 3%
	2021年	8, 844	119	112	120	125	兵庫 1%
	2022年	9, 462	104	108	104	101	
	2023年	8, 856	127	113	123	145	
	5ヵ年平均	9, 483	100	97	100	104	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	9, 500	98	95	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量(t) 単価(円/Kg)				
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産の生育は概ね良好で潤沢な入荷となる。入荷サイズはL大中心となる見込み。							
【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(7.3%) 価格：前年を大幅に下回る。(△22.8%)							

名古屋市中央卸売市場

9月12日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	10,078	329	369	331	306	和歌山 18%
	2020年	10,624	359	408	348	334	フィリピン 15%
	2021年	9,929	372	421	359	352	長野 15%
	2022年	10,913	369	423	361	347	三重 11%
	2023年	9,813	440	466	442	422	熊本 9%
	5ヵ年平均	10,271	373	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	9,300	410	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 みかん、りんご、かきなどが主な品目となる。りんごの入荷は前年を上回るものの猛暑により平年をかなり下回る。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.2%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△6.8%)</p>						
みかん	2019年	2,981	243	224	187	148	三重 33%
	2020年	3,257	256	273	251	254	熊本 24%
	2021年	3,229	230	240	225	234	和歌山 17%
	2022年	2,875	270	282	273	261	静岡 16%
	2023年	3,094	304	306	308	308	愛知 6%
	5ヵ年平均	3,087	260	265	249	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	2,700	310	320	320	320		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 日焼け果、カメムシ、小玉傾向の影響で極早生の生産量はかなり少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△12.7%) 価格：高値だった前年並。(2.0%)</p>						
かき	2019年	1,913	243	272	235	244	和歌山 80%
	2020年	1,970	280	298	262	294	岐阜 8%
	2021年	1,636	299	302	296	323	愛知 6%
	2022年	2,022	279	323	272	272	三重 5%
	2023年	1,582	332	337	325	347	奈良 1%
	5ヵ年平均	1,825	284	306	276	293	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	1,400	330	330	320	320		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 和歌山は数量減の見込み。岐阜、愛知、三重は前年並かやや増える見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△11.5%) 価格：前年並。(△0.6%)</p>			注：前年の4～7月、本年の5～7月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記			

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	40,389	335	372	331	308	和歌山 18%
	2020年	40,562	377	419	358	350	青森 10%
	2021年	35,917	394	428	376	378	熊本 9%
	2022年	40,009	383	424	379	357	長野 8%
	2023年	35,720	464	492	453	451	愛媛 7%
	5ヵ年平均	38,519	389	—	—	—	
2024年見通し	35,000	470	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 みかん、かき、りんごを中心に入荷する。りんごは品質、数量共に順調。なしは引き合い強く単価高となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.0%) 価格：前年並。(1.3%)</p>						
みかん	2019年	11,691	221	238	221	209	熊本 27%
	2020年	12,185	242	253	232	241	愛媛 21%
	2021年	11,486	210	208	198	222	長崎 20%
	2022年	10,674	246	252	239	248	佐賀 14%
	2023年	11,586	282	274	272	298	和歌山 13%
	5ヵ年平均	11,524	240	245	232	243	
2024年見通し	11,000	287	280	280	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 熊本、愛媛、長崎などから極早生中心に入荷する。極早生は高温、干ばつの影響により数量減で小玉傾向の見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.1%) 価格：前年並。(1.8%)</p>						
かき	2019年	8,410	247	266	231	245	和歌山 54%
	2020年	8,710	290	289	269	311	奈良 24%
	2021年	8,003	305	299	291	330	愛知 7%
	2022年	10,268	272	300	265	263	新潟 5%
	2023年	9,045	331	337	307	348	福岡 3%
	5ヵ年平均	8,887	289	299	273	298	
2024年見通し	9,500	333	340	310	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 和歌山、奈良から刀根早生、平核無を中心に入荷する。日焼け果やカメムシ害による品質への影響が見込まれる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(5.0%) 価格：前年並。(0.6%)</p>						

# 切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2019年	1, 2 3 2	5 7	
		2020年	1, 2 3 0	5 0	
		2021年	1, 2 5 0	5 5	
		2022年	9 9 4	6 6	
		2023年	1, 0 2 5	7 1	
	5カ年平均	1, 1 4 6	5 9		
2024年見通し	1, 0 0 0	7 0			
概要	愛知、長野を中心に入荷。上旬から中旬にかけて全体的に入荷量は少なめ。下旬からは徐々に入荷量も安定する見込み。				
小 ぎ	実績	2019年	6 1 0	3 2	
		2020年	6 2 1	3 8	
		2021年	6 3 0	3 8	
		2022年	6 4 8	4 8	
		2023年	5 3 2	4 2	
	5カ年平均	6 0 8	4 0		
2024年見通し	5 5 0	4 0			
概要	愛知、長野中心に入荷。夏場からの暑さ、9月の残暑の影響もあり、品質、入荷量は月を通して不安定となる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	2019年	1, 1 2 4	4 3	
		2020年	9 3 8	4 6	
		2021年	1, 1 0 0	4 5	
		2022年	9 9 4	5 4	
		2023年	9 3 8	6 0	
	5カ年平均	1, 0 1 9	4 9		
2024年見通し	1, 0 0 0	5 5			
概要	長野、愛知、輸入を中心に入荷。夜温の低下とともに長野産は落ち着いてくるが、愛知産は若干の遅れがみられる。暖地、高冷地の端境でリレーがうまくいかず、輸入の補足が必要になる場面もありうる。				
か す み	実績	2019年	8 5	1 4 6	
		2020年	1 0 2	1 3 3	
		2021年	9 0	1 4 0	
		2022年	1 0 3	1 7 0	
		2023年	8 6	1 9 1	
	5カ年平均	9 3	1 5 6		
2024年見通し	9 0	1 7 0			
概要	福島、長野から入荷となる。気温の低下に伴い、入荷量は減少する見込み。中下旬から熊本、和歌山の出荷も始まる見込み。				



単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	293	161	
		2020年	256	182	
		2021年	280	175	
		2022年	213	209	
		2023年	227	225	
	5カ年平均		254	188	
	2024年見通し		235	200	
概要	<p>オリエンタルユリは新潟、埼玉、岐阜、愛知、高知、宮崎、北海道から入荷となり、中下旬から西南暖地の出荷もまとまってきた。LA、鉄砲ユリは中旬以降西南暖地が増えていく。</p>				
洋らん	実績	2019年	406	73	
		2020年	298	100	
		2021年	350	80	
		2022年	292	123	
		2023年	359	115	
	5カ年平均		341	97	
	2024年見通し		340	100	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入が入荷する。コショウランは国内産がやや減少していき、月を通して微減。カトレアは微増の見通し。デンファレはピンク(アンナ)を中心に増加。オンジウムはハニーエンジェル中心に上位等級が減って、下位等級が増える見込み。</p>				
ばら	実績	2019年	682	73	
		2020年	662	80	
		2021年	680	80	
		2022年	716	98	
		2023年	698	94	
	5カ年平均		688	85	
	2024年見通し		700	85	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、山形、輸入が入荷する。近県、暖地の荷物の花丈も伸びて、ヘッドサイズも徐々に回復し、入荷量も徐々に増えてくる。全体としては平年並の予想。</p>				
枝	実績	2019年	1,281	53	
		2020年	1,198	56	
		2021年	1,200	55	
		2022年	1,290	64	
		2023年	1,265	63	
	5カ年平均		1,247	58	
	2024年見通し		1,270	60	
概要	<p>紅葉と実もののシーズンとなるが、高温のため色づきが悪く、出荷が遅れ気味。コットンフラワーなどの入荷も始まり、クリスマス花材なども早めの入荷となる見通し。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	2019年	15,430	831	
		2020年	25,191	764	
		2021年	18,028	1,123	
		2022年	20,223	1,069	
		2023年	19,023	905	
	5カ年平均		19,579	931	
	2024年見通し		19,000	900	
概要	<p>入荷量は前年並か。定番品種の売れ行きが厳しく、入荷・相場は共に厳しい見込み。特に大鉢は厳しく、中鉢以下の出荷が中心になる。前年同様、ユッカ・マッサンが厳しい。また、南方での生産は減少しているため、輸入原木の入荷がメインになる見込み。前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(58.1%)、2位鹿児島(13.8%)、3位沖縄(7.7%)となっている。</p>				
シヤコバサボテン	実績	2019年	34,347	421	
		2020年	34,322	437	
		2021年	32,956	449	
		2022年	30,773	485	
		2023年	25,679	448	
	5カ年平均		31,615	447	
	2024年見通し		25,000	450	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。サイズでは4~5号が中心の出荷になる見込みだが、小鉢は暑さの影響と思われる花飛びが出ており、11月以降に品薄になる可能性がある。出荷時の蕾の固さは、固過ぎも進み過ぎも敬遠されるので注意が必要である。前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(70.0%)、2位埼玉(26.1%)、3位栃木(3.7%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	2019年	531,062	178	
		2020年	549,026	186	
		2021年	542,283	187	
		2022年	614,502	209	
		2023年	496,173	212	
	5カ年平均		546,609	194	
	2024年見通し		405,500	221	
概要	<p>入荷量は前年より大幅に減少か。作付は減少傾向にある。10月上旬はガーデンシクラメン3号の出荷がピークとなり、中旬から下旬にかけてシクラメン4号、5号の入荷が徐々に増え始める。残暑や台風等の天候にも左右されるが、相場は前年よりも安定する見込み。前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(36.4%)、2位愛知(30.8%)、3位北海道(7.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジウム	実績	2019年	3,976	1,662	
		2020年	2,225	1,265	
		2021年	4,968	1,439	
		2022年	3,275	1,803	
		2023年	2,671	1,631	
	5カ年平均		3,423	1,568	
	2024年見通し		2,500	1,640	
概要	<p>入荷量は前年よりかなり減少か。廃業や減産、転作に伴い生産量は減る見込み。生産者が減少するに伴い、苗代が上がっており、さらなる生産意欲の減退につながっている。夏の高温のため、年内出荷できるシンビジウムの生産量が減っており、10月は殆ど無い見込み。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（89.0%）、2位静岡（6.4%）、3位長野（2.3%）となっている。</p>				
カラコエ	実績	2019年	34,413	191	
		2020年	26,320	229	
		2021年	27,950	223	
		2022年	26,219	242	
		2023年	21,042	262	
	5カ年平均		27,189	226	
	2024年見通し		20,000	263	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。ここ数年続く高温・猛暑の影響で腐りによるロスが多い。特に山上げ物の3.5号ポットの痛みが顕著で、出荷は4～6号が主となる見込み。いずれの規格においても八重咲の引き合いが強く、入荷量の減に伴い価格は安定する見込み。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（54.9%）、2位岐阜（32.5%）、3位愛知（9.7%）となっている。</p>				
パンジー	実績	2019年	528,529	48	
		2020年	514,640	55	
		2021年	587,278	50	
		2022年	520,570	63	
		2023年	410,039	69	
	5カ年平均		512,211	56	
	2024年見通し		400,000	55	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。暑さや湿度からの傷み対策から、播種を遅らせる傾向にあり、中旬までの花付き出荷は少ない見込み。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（24.8%）、2位奈良（16.3%）、3位埼玉（11.3%）となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.616  
2024年10月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434